



12月27日 餅つき会(大宝保育園で)

かわらわら  
ぱんぱん

第5回

# ひなに魅せられて

～ひな人形の世界～

平成29年

## 2月4日(土) - 3月5日(日)



写真は一昨年の展示風景です

### 博物館のひなまつり

2月26日(日) PM1:30～

- ♡コンサート  
歌唱・バイオリン・ピアノ演奏
- ♡市内保育園児の発表
- ♡呈茶サービス  
\*なくなり次第終了

♡当日のみ入館料無料

開館時間 午前9時～午後4時30分  
 休館日 2月6日(月)・13日(月)・20日(月)・27日(月)  
 入館料 一般200円(160円) 児童生徒100円(80円)  
 ( )内は15人以上の団体料金  
 \*未就学児・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方は無料

## 下妻市ふるさと博物館 下妻市長塚し77番地(ピアスパーク手前) 0296-44-7111





# 年頭のあいさつ



下妻市長  
稲葉 本治

あけましておめでとございます  
皆さまには、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

おかげさまで、市長として市政のかし取り役を務めさせていただきました。7回目の新春を迎えました。本年も「市民目線の市政運営」という政治姿勢のもと、市民の皆さまの期待と信頼に応えるため、さまざまな行政課題に全力で取り組んでまいります。

## 「財政」や「人口」を元気に

財政の健全化では、一時の危機的状況を脱し、経常収支比率、実質公債費比率等が大きく改善しております。また、これまで企業誘致を積極的に進めてまいりましたが、既存の工業団地が完売したため、新たな

用地の確保に着手し、さらなる雇用と自主財源の充実を目指しております。

高齢化社会を迎え、その重要性を増している地域公共交通では、本年1月23日からコミュニティバス「シモンちゃんバス」がピアスパークしもつま、小貝川ふれあい公園間のルートで実証運行を開始いたします。さらに平成29年度当初には、中心市街地活性化の仕掛け、まちなかのにぎわいづくりの拠点として、砂沼を望みできるカフェを併設した観光交流センター「さん歩の駅サン&SUNさぬま」が砂沼南岸に、屋根付き多目的広場「Waiaidoomしもつま」が旧ジャスコ跡地にオープンいたします。

## 安全で安心なまちづくり

近年、東日本大震災、平成27年9月関東・東北豪雨と相次ぐ大規模災害に見舞われた本市であります。これら震災や水害を教訓として防災・減災対策に取り組んでおります。中でもインフラ整備では、子どもたちの安全・安心を最優先に、学校施設の耐震化を計画的に進めてまいりました。平成30年4月の開校を目

途に改築工事を行っている下妻中学校の校舎が完成すると、市内すべての学校施設が耐震基準を満たすこととなります。

そのほか本市では、「健幸都市しもつま」をコンセプトとして中学3年生までの医療費無料化や各種検診・予防接種の助成など保健制度の拡充に力を注ぐとともに、耐震基準を満たしつつも古くなった大宝小学校、大形小学校の体育館の大規模修繕など教育関連予算に対する重点配分を行っております。平成31年度に「いきいき茨城ゆめ国体」開催を控え、スポーツによる健康づくりや生涯学習の振興を含む福祉教育のさらなる充実を図ります。

## 下妻ブランド

### 下妻ブランドの確立

全国各地で地域経済の疲弊が見られる中、本市は、これまでJAや商工会をはじめとする関係団体と協力・連携を図りながら、農・工・商のバランスが取れた着実な発展を目指してまいりました。特に基幹産業の農業では、農産物のブランド化や海外販路拡大に挑み、一定の成果を上げ

ております。今後ともトップセールスや商品PRを通じて本市の魅力を広げ発信し、より多くの方々に本市のよさを知っていただくことで、観光・交流人口の増加や市外からの定住促進につなげていきたいと考えております。

地方自治体を取り巻く情勢は、人口減少社会の到来や情報化・国際化の進展などで著しく変化しております。本市も例外ではありません。しかし、その一方で、これまで市民の皆さまと共にまいりましたまちづくりの「種」が芽吹き、着実に成長していることを実感しております。本市は、これからも住みよさを指標として総合的な市のブランド力の向上に努め、市民の皆さまが誇りを持って「下妻

市民です」と言えるまちづくりを推し進めてまいりますので、皆さまには、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして、健康で幸多き年となりますことを心からお祈り申し上げます、あいさつといたします。

## 新春インタビュー



## チャレンジの年に

下妻市観光大使  
女子柔道  
塚田 真希さん

オリンピックで2大会連続のメダル獲得(柔道女子78kg超級・2004年アテネで金、2008年北京で銀)を成し遂げた塚田真希さんは、下妻市黒駒の出身で、平成24年3月に下妻市観光大使に就任しています。

平成28年4月からは指導者として東海大学柔道部の女子副監督、11月には女子監督に就任。8月のリオオリンピックでは柔道女子のコーチとして選手団を支え、日本勢のメダル獲得に貢献しました。

今月号では、5月21日付で下妻市体育協会の名誉会員にも就任し、今後の活躍が本市のスポーツの発展などにつながるものと大いに期待される塚田さんに、新年の抱負を語っていただきました。

### 指導者としてのチャレンジ

所属(東海大学柔道部)では11月に女子監督に就任し、責任がまた生まれたので、身の引き締まる思いです。これから学生が迷わないように指針を立てる部分で、結果を求めて焦ると怒られてしまいますが「チームづくりをどのようにしていくのか」、また全日本のコーチでは「要所で自分が求められていることは何なのか」を整理していくことが大事だと考えています。所属でも全日本でも「しっかり考えてチャレンジしていこう」と決めています。今年は「チャレンジの年」になります。

### 選手育成に「普通」「常識」「当たり前」を使わない

自分の中で「普通」「常識」「当たり前」という言葉を使わないように、学生や選手に向き合うようにしています。人との接し方で大切にしている部分であり、コミュニケーションでは気を付けています。

全日本では、2012年のロンドン五輪から柔道女子の特別コーチとして入り、ロンドン五輪後に正式にコーチに就任して4年スパンで動いています。ロンドン五輪では、指導者が選手を管理し、リードしていく指導法をとった中で柔道女子は金1個、銀1個、銅1個の計3個。今年8月のリオ五輪では、選手の自発を促すような指導法に変わり、選手とのやりとりには根気のいる作業でしたが、結果として金1個、銅4個の5階級でメダルを獲得できました。

2020年の東京五輪に向けては監督が変わり、新体制で次のスタートを切っています。監督によってチームのカラーは変わってきます。これまでの流れを見ている中で私ができることは、それぞれのカラーの中で良かった点とうまくいかなかった点を比較して、感じたことを監督に伝えて、選手が困らないようにやっていた環境づくりが私の役割になると思っています。

### 頑張ることが恩返し

私の中では、いつも下妻市の皆さんに温かく応援してもらっているのが励みになっています。下妻市は自分が生まれ育った場所なので、機会があれば積極的に講演などをやらせていただきたいという思いはあります。ただし、今は指導者としてスタートしたばかり。現役の時には目標を達成して地元に戻ったという感覚がある中で、指導者という新しいキャリアがスタートして間もない今は、地元に戻るといのがまだ早いというか、落ち着かない感覚があります。これから指導者として自分の中で目標を達成したときに、よい報告ができることをモチベーションにして一つ一つチャレンジしていきたい。よい報告ができるよう頑張っていくのが一つの恩返しだと思っています。





ソフトボール(少年男子)の投手

ソフトボールは野球と似たルールで行われますが、野球に比べてボールが大きく、投手は下手投げで投球します。出塁者は、投手の手からボールが離れるまで塁を離れることができません。試合は通常7回戦まで行いますが、7回を終了して同点の場合はタイブレーカー(無死2塁から試合を再開)により勝敗が決まるまで試合が続きます。

**会期**  
平成31年9月29日(日)～  
10月1日(火)

**試合会場**  
少年 砂沼広域公園野球場  
男子 柳原球場  
少年 千代川運動公園野球場  
女子 千代川中学校グラウンド

**正式競技**  
ソフトボール  
少年男子  
少年女子

**デモンストレーションスポーツ**  
Eボート

下妻市は  
Eボート

Interview

夢は国体選手

茨城国体が開催される平成31年に高校3年生となる下妻中学校男子ソフトボール部の飯塚真央さん(3年)と女子ソフトボール部の上原咲さん(3年)にインタビューしました。



上原咲さん 飯塚真央さん

**Q**ソフトボールの魅力は——  
飯塚 単純な内野ゴロでもセーフになったり、野球にはないスピード感です。  
上原 一人だけすごい選手がいたとしても決して勝てない競技。チ

**Q**高校進学後の目標は——  
飯塚 高校3年生の時の茨城国体は、下妻市がソフトボールの会場となるので、そこで活躍するのが自分の夢です。  
上原 中学校の時に大きな大会に出られなかったので、高校では関東大会、インターハイ、国体などで勝ちたいです。

**Q**茨城国体で期待していること  
飯塚 国体をきっかけにして競技の魅力に触れてもらうことで、ソフトボール人口が増えるとうれしいです。  
上原 周りの友達などもソフトボールと野球の違いが分からなかったりするので、ソフトボールを知りたいです。  
**Q**茨城国体に向け、市民の皆さんに一言——  
飯塚 チームを応援したり、運営に関わってもらったりなど、多くの人に国体に参加してもらえると嬉しいです。  
上原 国体に出場できるように頑張りますので、応援よろしくお願います。



Eボート大会で奮闘する小学生チーム

**会期**  
平成31年 ※日程調整中

**試合会場**  
鬼怒川大形橋上流左岸

Eボートの競技名は、誰でも(everybody)、簡単に(easy)、楽し(jenjoy)、交流(echange)、エコライフ(eco-life)、環境(environment)、緊急(emergency)などの頭文字からとっています。  
競技はチーム戦で、漕手8人、鼓手1人、舵取1人の合計10人を1組とし、ゴム製の手漕ぎボートを用いてタイムトライアル方式でレースを行います。  
毎年5月に茨城県大会が本市で開催されており、子どもからお年寄りまで幅広く参加できるスポーツです。

の開催地です!!

Eボート

特集

茨城国体まで、あと1000日

(平成29年1月1日現在)

平成31年に国体が45年ぶりに茨城県で開催されることをご存じですか? 2年後に迫った国内最大のスポーツの祭典。下妻市は、ソフトボール(少年男子・少年女子)とEボートの開催地です。平成28年7月に茨城国体の全体会期が、12月にはソフトボール競技会の会期などが決定したことから、今月号では茨城国体や本市での開催競技についてご紹介します。

問い合わせ 生涯学習課 国体推進室 ☎45-8100

第74回国民体育大会(茨城国体)

平成31年9月28日(土)～10月8日(火)  
(11日間)

大会愛称

いきいき茨城ゆめ国体

選手やボランティアをはじめ、国体に参加するすべての人々が、活気に満ちた、いきいきと活躍できる夢のあるスポーツの祭典を創り上げていきます。

大会スローガン

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

国体にさまざまな形で参加することによって飛躍し、そして未来に向けて大きく羽ばたいていける大会であるようにという想いを込めています。



下妻市教育委員会 生涯学習課(国体推進室) 菊池 哲也 課長

おもてなしの心で ～市国体推進室からのメッセージ～

「いきいき茨城ゆめ国体」の成功に向けて、本市では全国各地から集まる選手、観客の皆さまを「おもてなしの心」でお迎えし、本市を訪れる皆さまが十分満足していただける、下妻ならではの魅力あふれる大会にできればと考えています。そのためにも市民の皆さまによる協力が不可欠です。大会には選手として参加するだけでなく、応援やボランティアスタッフで参加したり、フェイスブックの記事をシェアすることでPRのお手伝いをしたりと、さまざまな関わり方があります。45年ぶりの茨城県での開催、国体に関わることができる機会はそのうちありません。一緒に茨城国体の開催を盛り上げていきましょう。



運動会でイメージソング「そして未来へ」にあわせてダンスする児童たち(平成28年9月17日、高道祖小学校)

【イメージソングとダンス】  
「そして未来へ」



茨城国体 ホームページ

全国より285作品の応募の中から選ばれた「そして未来へ」は、スポーツの祭典にふさわしく、ダイナミックな広がりを感じられ、みんなが元気になれる軽快な曲です。イメージソングにあわせたダンスは、皆さんの参加意識を高め、初心者から経験者まで楽しく参加できる振り付けに仕上がりました。いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実行委員会ホームページからイメージソング、ダンスの動画の視聴や音源、楽譜、振付解説書などがダウンロードできます。



アンテナは頑張っている人を見ると反応! 背中の翼でどこへも行けて、輝くみんなに夢と幸運を届けます!

左手の緑のハートからは「夢を描くパワー」が出てくるよ!

右手のオレンジのハートからは「勇気のパワー」が出てくるよ!

【大会マスコット】  
いばラッキー

はるかな未来にある、幸運のエネルギーでできたラッキー星のカケラが弾けて、地球の茨城までやってきました。好奇心旺盛で、頭のアンテナで幸運の届け先を探し、みんなに夢と幸運を届けます。

みんな応援しよう!  
茨城国体

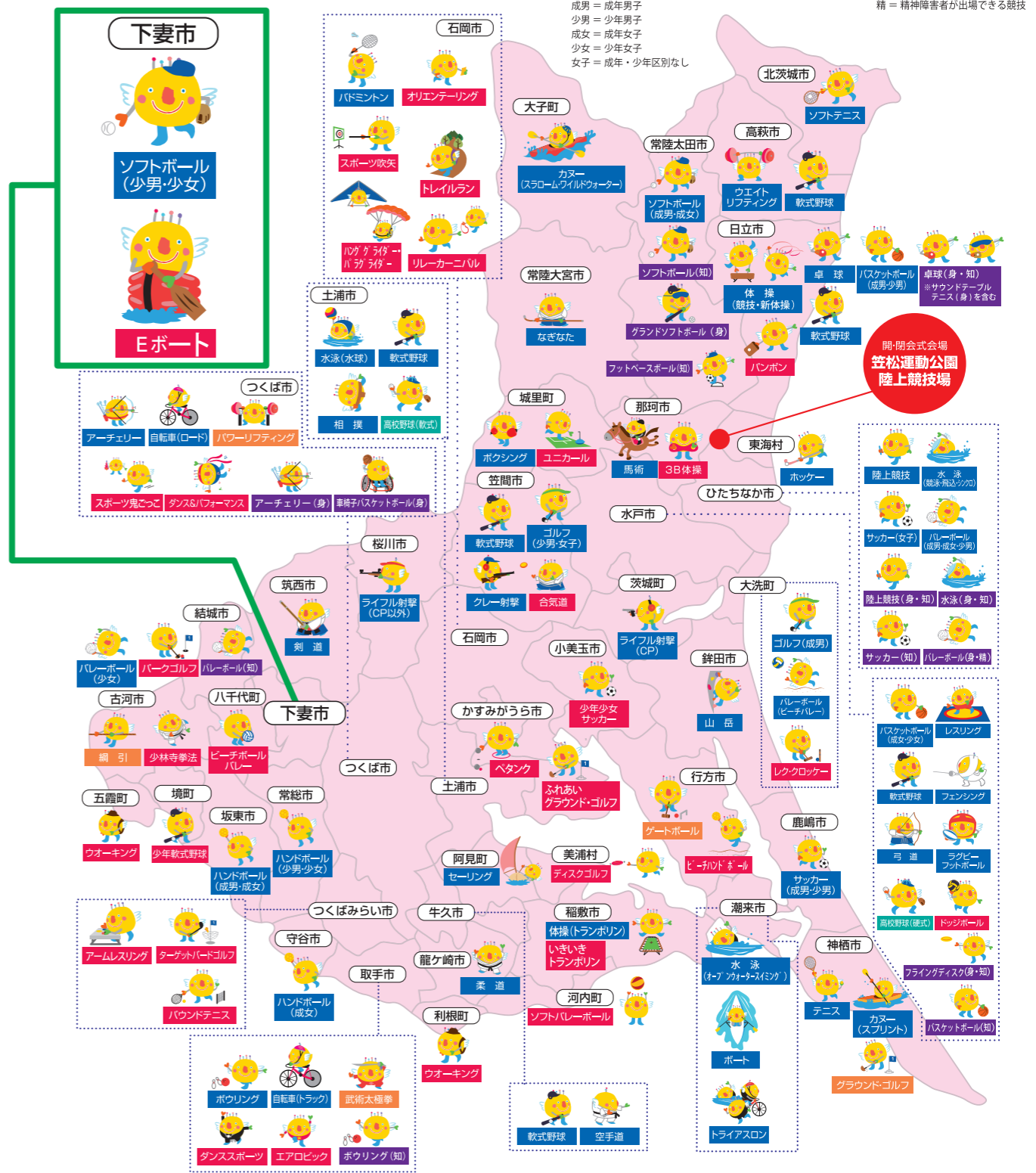


# 競技会場マップ

いきいき茨城ゆめ国体

いきいき茨城ゆめ大会

- 正式競技
  - 公開競技
  - 特別競技
  - デモンストラレーションスポーツ
- 全国障害者スポーツ大会
- 身 = 身体障害者が出場できる競技  
知 = 知的障害者が出場できる競技  
精 = 精神障害者が出場できる競技
- 成年 = 成年男子  
少年 = 少年男子  
成年 = 成年女子  
少年 = 少年女子  
女子 = 成年・少年区別なし



## 高齢者運賃が割引に

### 下妻市コミュニティバス「シモンちゃんバス」

#### 下妻市高齢者運賃割引証

(シモンちゃんバス専用)

本証のご提示で運賃が半額になります



No. 1234

氏名 下妻太郎 様

「下妻市高齢者運賃割引証」のイメージ

1月23日から実証運行を開始する下妻市コミュニティバス「シモンちゃんバス」の定額運賃は大人200円ですが、障害者や高齢者の運賃は半額の100円に割引となります。

割引料金の適用を受けるためには、障害者の場合は「身体障害者手帳」などを、高齢者(75歳以上)の場合は「高齢者運賃割引証」をそれぞれ運転手に提示する必要があります。

「高齢者運賃割引証」は、市役所企画課(本庁舎2階)で発行しますので、後期高齢者医療被保険者証などの年齢が分かるものをご持参ください。

問い合わせ 企画課 ☎43-2113

#### 学校跡地利用

### 旧蚕飼小学校の跡地利用者決定

市では、蚕飼小学校跡地利用検討委員会(高橋節雄委員長)から平成27年12月に市長に提出された提言により、文部科学省「みんなの廃校プロジェクト」を活用し、跡地利用者の公募を行いました。

平成28年2月29日までに応募があった3者の中から「旧下妻市立蚕飼小学校跡地等利用候補者選定委員会」で、植物研究者への研究・実験の場となるグリーンルームを設計施工する計画のユニテックシステム販売株式会社(市内大園木、代表取締役 大関一弘)が選定されました。その後、市と同社との間で協議を進め、11月16日に公有財産有償貸付契約を締結しました。



跡地利用が決定した旧蚕飼小学校の校舎

#### 地域活性化・地方創生

### 「下妻市の地域振興に関する協定」締結

市は12月27日、下妻市商工会、下妻市観光協会、筑波銀行、JTB関東との間で「下妻市の地域振興に関する協定」を締結しました。

協定の内容は、それぞれが保有する資源や情報を有効活用し、観光振興や地元製品の消費拡大など地域活性化を図るもので、市が「まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略」で掲げる基本目標①地域づくり ②人の流れ ③希望を叶える ④雇用の創出 の実現に向けて連携して取り組みます。今後は実施計画などを策定し、具体的な取り組みを進めていく予定です。

協定調印式後に、稲葉市長は「これまで市を元気にしたいとの思いで各種事業に取り組んできた。よきパートナーとして5者が連携し、市民や観光客へのサービス向上を目指して取り組むことで、新しい人の流れと地元製品の販売力を強化できる」と期待し、筑波銀行の藤川頭取は「水と緑に囲まれた下妻市は、田園都市として県を代表する農畜産物の一大産地で、首都圏へのアクセスもよい地域。これまで培ってきたネットワークを活用して市の発展に貢献していきたい」と抱負を述べました。



協定書に調印、取り交わした(左から)鎌田孝昭・JTB関東取締役、藤川雅海・筑波銀行頭取、稲葉本治・下妻市長、外山崇行・下妻市商工会長、木村進・下妻市観光協会長

有料広告欄

有料広告欄



## 公共施設を考える 市民ワークショップが意見書を提出

「公共施設を考える市民ワークショップ」のメンバーは12月14日、公共施設のあり方・方向性について取りまとめた意見書を稲葉市長に提出しました。

同市民ワークショップは公募に応じた市民10人で構成され、平成28年8月から4回にわたりワークショップを開催。市が平成27年度に作成した「公共施設等マネジメント基本方針」の実施計画策定にあたり、公共施設の将来のあり方を検討し、意見書として学校の余裕教室の活用や市役所を中心とした施設の集約化・複合化など公共施設の再編に向けた方向性を提案しました。

市では現在、今回の意見書に留意しながら「下妻市公共施設再配置計画【1期】」を策定しており、今後の公共施設の再編に向けた取り組みを進めていきます。



「公共施設を考える市民ワークショップ」メンバーから稲葉市長に意見書が手渡されました（左から外山美砂さん、須藤美樹さん、大林守さん、稲葉市長、柴山勝人さん）

## 買い物から「金銭感覚」を養う

市では、消費者教育推進法に基づき、平成25年度から市内小中学校で自立した消費者の育成と消費者被害の未然防止を図るための「消費者教育」を展開しています。

平成28年度は、ファイナンシャルプランナーなどで構成される茨城金融広報委員会の金融広報アドバイザーを迎え、市内の7小学校で「金銭感覚」を養うための講座を実施しています。

11月22日には総上小学校の6年生を対象に、与えられた条件の中で自分の視点や考えに基づいて答えを出す「カレー作りゲーム」が行われました。この講座の中で児童たちは「何かを買ったら、何かを買えなくなる」という、買うときの基本的態度（希少性、トレードオフ）を体験しました。

「予算があるので、我慢することも必要だと思った。



限られた予算で買い物を考える児童たち（11月22日、総上小学校）

悩んだけど、おいしいカレーができてさ」と話す稲葉皓己さん。限られた予算で買い物をすると、という感覚をしっかりとつかんでいました。

## 一般社団法人下妻青年会議所と「災害時における支援活動に関する協定」締結

一般社団法人下妻青年会議所と下妻市は12月15日、「災害時における支援活動に関する協定」を締結しました。

協定の内容は、災害時に市が行う応急救助への支援活動を迅速かつ円滑に行うことを目的としたもので、災害発生直後から組織的な活動ができる同会議所には人員や車両が不足する中でネットワークを生かした人的支援が期待されています。

協定書を取り交わした稲葉市長は、平成27年関東・東北豪雨災害で飲料水の提供のほか、災害ごみの回収や運搬などの支援を受けたことに感謝を述べた上で、「若い力に応援いただけて大変心強い。平常時から防災のソフト面で協力体制を築いて連携していきたい。地域をよく知る会員の皆さんには、自助、共助のけん引役となってほしい」と期待し、同会議所の平塚一芳理事長は「有事にすぐ行動できる体制が整った。この地域を守っていききたい。行政と協力して防災や災害時の一助となれば」と力強く抱負を語りました。



協定書に調印、取り交わした平塚理事長(左)と稲葉市長(右)

## 教育の充実を図り、人権尊重の精神を育む社会を目指して

健全な青少年育成や教育力の向上を図る「第34回下妻市教育振興大会」と人権尊重の社会を目指した「下妻市人権教育講演会」が12月10日、市民文化会館で同日開催され、教育関係者や市民など約500人が参加しました。

### ■第34回下妻市教育振興大会

教育振興大会では、横瀬教育長から青少年の健全育成を柱とする大会宣言がなされた後、市の教育振興に尽力された48人と教育論文の入賞者15人、いじめ防止標語コンクールの最優秀賞2人が表彰されました。同標語コンクールは、市内の児童生徒がいじめ防止に向けて標語を作成することを通して、いじめの問題について考えていくことを目的として毎年開催されています。



受賞おめでとうございます

### ◇いじめ防止標語コンクール(最優秀賞)

- よく見てね まわりの友だち えがおかな  
大形小学校2年 鈴木 日和 さん
- 考えて 軽い言葉の 重い意味  
下妻中学校3年 山田 綾香 さん

### ■下妻市人権教育講演会

人権教育講演会では、毎日新聞論説委員の野澤和弘さんが「障がいのある人もない人も暮らしやすい地域とは」と題して講演を行いました。

野澤さんは、日本と世界の障害者福祉の状況・比較からはじまり、障害のある方への理解の大切さ、障害者差別の解消につなげるための方法や仕組みなどについて、自身の体験を踏まえながら具体例を通じた話がありました。

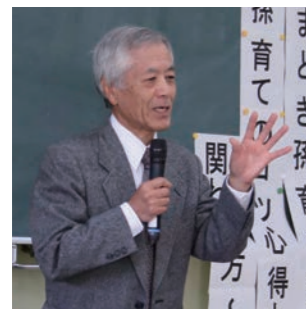
参加者からは、「難しいテーマでしたが、事例が多く、わかりやすい講演でした。障がいのない人にも優しい社会であってほしいと感じました」などの感想が寄せられました。



暮らしやすい地域を語る野澤さん

## 孫育ての心得と関わり方を学ぶ「いまどき孫育て講座」市で初開催

市では、子育て世代と祖父母世代が楽しく子育て、孫育てができるように「いまどき孫育て講座」を11月15、29日の全2回、市保健センターで開催しました。孫育てをテーマにした講座は市で初めて。



孫育ての心得とコツを話す浅野さん

講座1回目は、祖父母が子育てをしていた「あの頃」とは変わった最近の子育て事情をテーマに、食事やおやつの与え方、歯みがきのコツなどを学びました。

講座2回目は、長年子どもの発達相談に関わった臨床心理士の浅野房雄さんによる講演を開催。浅野さんは、孫育ての心得を「ボランティアに徹し、しつけや教育方針に出過ぎず、子どもの親との関係に入り込み過ぎないこと。口出し過ぎると親としての成長を邪魔してしまう。親の考えを尊重することが大切」と訴え、孫と関わるコツを「小さな成長を見逃さず、認めてあげることが必要」と話しました。

現在2人の孫育て中の柴崎みどりさんからは「今後は、親の気持ちになって同じ目線で一緒に成長していきたい。孫に遊んでもらう気持ちで無理をせず孫育てしたい」と話が聞けました。

有料広告欄

有料広告欄



# スケートボードのアジア王者 世界大会へ

アジアン スケートボーディング チャンピオンシップ2016 ストリート部門 優勝  
吉川楓選手(東部中学校3年)表敬訪問 12月16日



優勝記念のボードを持つ吉川選手(中)を激励する稲葉市長(左)と須藤市議会議長(右)

11月25～27日に中国・上海で20のアジア諸国から各国の代表が集まり開催された「アジアン スケートボーディング チャンピオンシップ2016」のストリート部門で優勝した東部中学校3年の吉川楓選手が稲葉市長を表敬訪問しました。

「優勝を決めた時は頭が真っ白になったけど、うれしかった」と話す吉川選手。2017年春にスペイン・バルセロナで開催が予定される世界大会の出場権を獲得し、さらなる高みを目指します。

正式種目に決まった2020年東京五輪への出場にも意欲を燃やす吉川選手は「アジア王者として恥ずかしい滑りはできない。もっと新しい技を増やして、世界に通じる技やメンタルを鍛えたい」と力強く抱負を語りました。

稲葉市長は「下妻市の誇りです。東京五輪という大きな目標に向かって頑張ってもらいたい」と激励し、「Waiwaiドームしもつまが完成したら、エキストラーム広場にスケートボード仲間を呼んだり、集まってくる人たちに教えたりしてほしい」と期待しました。



下妻駅前広場を彩る戦国武将イルミネーション

下妻の夜に戦国武将が照らし出される  
イルミネーションナイト2016  
11月27日

栗山商店会は、下妻の冬を彩る恒例のイルミネーションを点灯させました。5回目を迎えた今回はNHKの大河ドラマ・真田丸からヒントを得た「戦国武将」がテーマ。関ヶ原の戦いをモチーフに駅前通りの北側を「東軍＝徳川軍」、南側を「西軍＝豊臣軍」として家紋入りのLED付パネルが両軍22枚ずつ、44の店舗や民家に設置され、メイン会場の下妻駅西口では鎧兜をまとった「光る戦国武将」がひととき目を引きまします。

同商店会の中久喜正会長は「今後、イルミネーションナイトが下妻の冬の一大イベントになるのでは」と期待を込めました。



安倍会長と受賞を喜ぶ花万の飯島会長夫妻(帝国ホテル東京で)

第47回  
社会貢献者表彰式  
花と一万人の会「社会貢献者表彰」  
11月28日

花と一万人の会は「ちょっと素敵なまちづくり」を合言葉に、鬼怒川河川敷の鬼怒フラワーラインで、河川愛護の清掃活動や美しい花々を咲かせて「花とふれあいまつり」を開催するなど、魅力的で潤いのあるまちづくりを目指した住民主体の活動を展開しています。

同会は、鬼怒川の魅力を発信する活動を続けていることが社会貢献に顕著な功績をあげたとして認められ、公益財団法人社会貢献支援財団の安倍昭恵会長(安倍晋三首相夫人)から社会貢献者表彰を受賞しました。

飯島順一会長は「今回の表彰を契機に、さらなる会の活動の向上に努めていきたい」と意欲を見せていました。



年末犯罪抑止・飲酒運転根絶キャンペーン  
安全・安心に暮らせるまちづくり  
12月9日

年末の犯罪抑止と飲酒運転根絶を呼びかけるキャンペーンが、イオンモール下妻で行われました。下妻警察署や防犯・交通関係団体から約80人が参加しました。

開会式では、一日警察署長に委嘱された八千代町立西豊田小学校の1年生4人が「寝るときや出かけるときは必ず戸締りをしましょう」など一人ずつ防犯・交通安全宣言を行いました。

今回のキャンペーンでは、子どもたちに人気の茨城県発ご当地ヒーロー「時空戦士イバライガー」がゲストで参加し、買い物客などに啓発グッズを手渡ししながら、鍵かけや飲酒運転ゼロを呼びかけました。



防犯や安全運転を買い物客に呼びかける一日警察署長の児童たち

## ほっとレポライン Hot Repo Line 市民の声

近所の有志で始まった清掃活動を地域に広げ、住みよい町内にしようとして活動する浦町自治区で代表区長を務める須藤直樹さん(下妻丁)からのお便りを紹介します。

12月4日(日)、浦町自治会の有志で「秋の清掃&食事会」を行いました。

この会は、5年程前に浦町の塚越康男さんの提案により近所の有志が集まり、いずみ幼稚園を中心として、空地の枯草の撤去、市道や水路廻りの草取り、空き缶等のゴミ拾いから活動が始まりました。

一昨年(平成27年)、その活動を広めるため、浦町自治会と隣子会へ声をかけ22所帯36名が参加。今回は、区長や年番にも協力してもらい30所帯60人の3世代の方々が清掃を行いました。

今年は特別イベントとして、下妻消防署協力のもと水消火器による消火訓練、AED使用方法の説明、緊急時の通報訓練を行いました。特にAEDの説明には、全員が真剣な眼差しで署員の説明を聞いていたのが印象深かったです。その後、観音講の有志の方々が朝早くから準備していただいた食事会です。テーブルに載

## 住みよい町内にしよう

せきれないほどの食事を作ってくださいました。もち米の入った3種類のおにぎりや貝だくさんの芋煮汁、数種類の漬物等々、大変おいしかったです。

今年、浦町の子どもたちが活躍してくれました。高校女子柔道において染谷萌歌さんがインターハイ出場、全国小学生学年別柔道大会において青田れもんさんが3位と頑張りを見せくれました。これからの頑張りに期待をして記念品の贈呈も行いました。

天気にも恵まれ青空のぼかぼか陽気の下で大人数での食事には、みんなが笑顔で楽しい会となりました。



清掃活動後に大勢で盛り上がった食事会(いずみ幼稚園で)

有料広告欄

## スポーツクラッシュ カルチャー がんばる小学生!!

■第16回全国小学生ソフトテニス大会茨城県予選会  
準優勝 高学年女子ダブルス  
海老澤 帆夏(騰波/江小5年)・齋藤 綾乃(騰波/江小5年)ペア  
(下妻ソフトテニススポーツ少年団)【全国大会出場】

有料広告欄



# わがやの にんきもの

このコーナーでは、市内在住の1～3歳までのお子さんの写真に、お父さん・お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？ご希望の方は、【秘書課・広報広聴係 ☎43-2112】までご連絡ください。



しゅうご  
**荒井 秀悟** ちゃん

秀樹・弥耶さんの長男 大園木

ただ今急成長中！笑顔がとっても素敵な秀悟くん。マイブームはサンサン体操。いつでもどこでも体が勝手に踊ってしまいます。おしゃべりはまだできないけど、「はあっ！」っていうお返事だけは立派にできます(笑) 次はどんなことができるようになるのかな？楽しみだね♡



よりひさ  
**大畑 頼央** ちゃん

聖有・英美さんの長男 見田

おてんばで、とってもチャレンジャーな頼央くん。ここにも登れそうぞ！ここから降りられるかな？と、毎日いろんな段差に挑み続けています。そんな頼央くんですが、人見知りで甘えん坊な一面も。これからも、元気に大きくな～れ♡



れみ  
**斉藤 怜実** ちゃん

正道・圭子さんの長女 宗道

れみは、今月で2歳です。兄のマネをして驚かされる行動をすることもありますが、「自分のことはやる！」と最近頑張っています。れみの笑顔は、みんなを元気にしてくれます。れみとおしゃべりするのが、これからの楽しみです。



# 口頭詩

子どもの純粋な心のつぶやき



すどう あきひと  
5歳4カ月時点  
(上妻幼稚園)

からだのオンとオフ  
はちじになつたら  
オフになるんだよ  
まだでんげんが  
はいっているんだ  
アサになつたら  
オンになるんだよ  
そしたらじゅうてん  
オッケーなんだ

【解説】  
寝る準備をしていたときに出た言葉です。夜8時になったら布団に入るようにしています。就寝や起床をゲーム機などの機械のようにたとえているのが面白おかしく子どもながらの表現なのかなあと思いました。  
採集 母 須藤 美樹

# 大宝保育園

より高く～積み木大好き～



◀年長の皆さん



「高い所は任せて」「ここはどうしようか」と話し合い、協力しながら積み上げて完成したスカイツリーやビル。作品は段々と高く、大きくなってきました。今日もまた、「できた。完成」の誇らしげで元気な声が保育室に響きます。

# みんなの ギャラリー

From SHIMOTSUMA

「家族」  
私は23歳の時に結婚し、今では4人の子どもにも恵まれました。いつも仕事などで帰宅するのが遅くなり、家族と触れ合う時間が少なくなっています。私が帰宅すると子どもたちが最初にござって、「パパ、今日はもう出かけない？」と聞いてくれます。私が「出かけちゃうよ」と言うと「え〜」と返し、「今日は出かけないよ」と言うと「やったー！」と喜んでくれます。その度に、私は家族の愛を感じて

幸せな気持ちになります。いつまでも子どもたちには、その気持ちを忘れないでほしいところですが、きっと思春期にはパパから距離をとることでしょう。そのことを思うととても寂しい気持ちになってしまつので、今は気にせず仕事を頑張るよう心がけ、いつも私のわがままに付き合ってくれているママと子どもたちに心より感謝して、これから自分らしい人生を楽しもうと思えます。

## わたしからあなたへ

さわやかにリレー vol.132

前回登場の斉藤将喜さんからの紹介

平塚 一芳 さん(村岡)

## 市民文芸

俳句

きっかけはミカン一つを半分に 菅谷 勝彦(加養)

実南天朝陽に弾む小鳥来る 程山 静子(大園木)

落葉籠銀杏木蓮萩楓 木村まり子(加養)

奴舳飾る廊下の突きあたり 飯村 真琴(黒駒)

短歌

夜は更けてラジオに聞けるトランプベット 吉原 真子(高道祖)

夫の吹きしを想い出したり プラン練る目を休ませてガラス鉢の 徳田 絹子(下妻乙)

楊貴妃めだが朱の色に舞う 菜子といふものの乏しき幼き日 小林美智雄(唐崎)

唇染めて食みし桑の実 日めくりを剥して薄き手ざわりに 鈴木 澄江(宗道)

一つ年を重ねて八十路を歩む 東の野を染めのぼる朝の日の おだしくありて柿の照りはゆ 増田 啓子(下妻乙)

あざやかに祭り太鼓の桴さばき 子等の額に汗ひかりあつ 山本せい子(下妻丙)

有料広告欄

有料広告欄



◆行政相談

日時 2月10日(金) 午後1時30分～3時30分  
場所 千代川公民館 1階 小会議室  
日時 2月24日(金) 午後1時30分～3時30分  
場所 下妻公民館 1階 和室  
問合せ 秘書課 ☎43-2112

◆人権相談

日時 2月24日(金) 午後1時30分～3時30分  
場所 下妻公民館 2階 小会議室  
問合せ 人権推進室 ☎43-8246

◆こころの健康相談

日時 2月15日(水) 午後1時～4時(予約制)  
場所 市役所第二庁舎 3階 中会議室  
問合せ 福祉課 ☎43-8352

◆消費生活相談

日時 月・火・木・金曜日(毎週)  
午前9時～正午 午後1時～4時30分  
日曜日(2月26日)  
午前9時～正午  
場所 下妻市消費生活センター(千代川庁舎内)  
問合せ 下妻市消費生活センター ☎44-8632

◆納税相談

・夜間納税相談  
日時 2月2日(木) 午後5時30分～7時30分  
・休日納税相談  
日時 2月26日(日) 午前8時30分～午後5時  
場所 市役所本庁舎 1階 収納課  
問合せ 収納課 ☎43-8274

◆法律相談

日時 2月14日(火)・21日(火)・28日(火)  
午後1時30分～3時30分  
※事前に予約が必要です(当日不可)  
場所 下妻公民館 2階 学習室  
問合せ 下妻市社会福祉協議会 ☎44-0142

人口と世帯

1月1日現在の常住人口

人口	42,933人	前月比	(-59)
男	21,453人		(-25)
女	21,480人		(-34)
世帯数	15,284世帯		(-6)

☎ テレホンサービス

◆火災・災害のとき ☎0296-44-3111  
◆市役所などの行事・催物 ☎0296-43-4000

健康カレンダー Health Calendar  
2月1日～2月28日

2/1 水		小 西南
2 木	ウォーキング教室 9:30～10:00 砂沼サンビーチ玄関前	小 西南
3 金	びよびよ教室 10:00～10:30 5か月児健診(平28.8月生) 13:15～13:30	小 古河
4 土		夜 小 西南
5 日	在 三津山クリニック	夜 小 西南
6 月		小 西南
7 火	元気アップ教室 9:15～10:00 2歳児歯科健診(平26.12月生) 13:15～13:30	小 西南
8 水	パクパク離乳食教室(予約制) 10:00～10:15	小 西南
9 木	すくすく相談(予約制) 13:30～	小 西南
10 金		小 古河
11 土	在 砂沼湖畔クリニック	夜 小 西南
12 日	在 浅田医院	夜 小 友愛
13 月		小 西南
14 火		小 西南
15 水	ママサロン 13:30～15:30	小 友愛
16 木	1歳6か月児健診(平27.7月生) 13:15～13:30	小 西南
17 金	3歳児健診(平25.11月生) 13:15～13:30	小 古河
18 土		夜 小 西南
19 日	在 古橋医院	夜 小 西南
20 月		小 西南
21 火	キッズくらぶくへピー&ママ体操 10:00～10:30	小 西南
22 水		小 西南
23 木	すくすく相談(予約制) 13:30～	小 西南
24 金		小 古河
25 土		夜 小 西南
26 日	在 渡辺クリニック	夜 小 友愛
27 月		小 西南
28 火		小 西南

※場所の記載がないものは下妻保健センター

在 休日在宅当番医 午前9時30分～午後4時

三津山クリニック ☎48-9131 古橋医院 ☎44-2792  
砂沼湖畔クリニック ☎43-8181 渡辺クリニック ☎43-7773  
浅田医院 ☎44-3957

夜 夜間応急診療所 下妻保健センター内 ☎43-1990

土・日・祝日(1月1日を除く): 午後7時～翌朝7時

小 小児救急当番医

月・火・水・木・金・土曜日: 午後6時～午後11時  
日曜・祝日: 午前9時～午後4時

小児輪番病院は、入院治療を必要とする子供の救急医療を行っています。受診される際は、医療機関に必ず事前に電話でご相談ください。  
・西南…茨城西南医療センター病院(境町2190) ☎0280-87-8111  
・友愛…友愛記念病院(古河市東牛谷707) ☎0280-97-3000  
・古河…古河赤十字病院(古河市下山町1150) ☎0280-23-7111



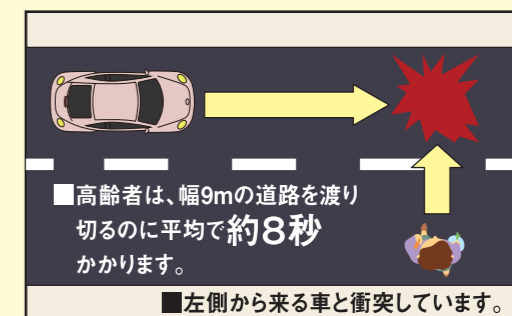
# 高齢者の交通事故が多発

平成28年中における市内の交通事故死者数は前年の3.5倍に増加しており、中でも高齢者(65歳以上)が犠牲となる交通事故が4件発生しています。これらの事故には共通する点があることから、その特徴と考えられる原因や対策についてお知らせします。

事故の特徴

片側一車線以上の道路を横断中の歩行者や自転車乗車中の人が、渡りきる直前に左側から来る車両と衝突しています。

時速55kmで走る車は8秒間に約122m進みます。



運転席から見たイメージ

考えられる原因

加齢による身体能力の低下により横断に時間がかかる、走行車両の直前・直後に横断することが多いなどが考えられます。

運転者の対策

○スピードを抑え、安全運転を心がける  
○早めのライト点灯、ハイビームにより早期に危険を察知する

歩行者・自転車の対策

○信号や横断歩道がある場所を渡る  
○車が来ないかよく確認する  
○夕方以降に外出する際は、反射材を着用する

交通安全教室

市では、警察や関係団体と連携し、高齢者の集まる場所で「交通安全教室」を行っています。「交通安全教室」の開催を希望される場合は、消防交通課へご連絡ください。



交通安全母の会による交通安全教室(11月22日、千代川公民館で)

反射材の無料配布

市では、市内在住の方を対象に反射材(タスキ、リストバンド)を無料で配布しています。ご希望の方は、消防交通課(本庁舎2階)またはくらしの窓口課(千代川庁舎1階)へお越しください。



運転者から発見されやすい反射材を付けた状態(左)

問い合わせ 消防交通課 ☎43-8309

有料広告欄